



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第33巻第2号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第33巻第2号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1987, 33(2): 328-328

ISSUE DATE:

1987-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/119031>

RIGHT:

泌 尿 紀 要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 33, No. 2 ACTA UROLOGICA JAPONICA February 1987

泌 尿 器 科 紀 要

第 33 巻 第 2 号 1987年2月

女性脊髄損傷患者の尿路管理に関する考察 —28症例の検討—	百瀬 均・ほか	171
子宮悪性腫瘍の治療前泌尿器科検査における臨床的検討	由井 康雄・ほか	177
ヨード造影剤の副作用	米田 勝紀・ほか	183
無精子症における染色体異常の検討	堀 夏樹・ほか	187
染色体異常をとまなう男性不妊 第2報: XX-male 症候群	羽間 稔・ほか	193
BBN ラット膀胱癌における膀胱部分切除術の影響	青田 泰博	204
泌尿器科腫瘍の鑑別診断および staging における MRI の意義: 特に CT との比較を中心として	西村 一男・ほか	210
大森赤十字病院泌尿器科における入院・手術統計 (1981年1月~1985年12月)	池本 庸・ほか	219
非機能性副腎腫瘍の3例	石井 徳味・ほか	223
腎平滑筋腫の1例	小田島邦男・ほか	229
術中超音波診断が有用であった腎結石手術例	菅田 敏明・ほか	233
出生後早期より尿路管理を行ない VUR の消失をみた 二分脊椎の1例	山本 雅司・ほか	237
気腫性腎盂腎炎の2例 —治療法の選択についての考察—	村中 幸二・ほか	243
右心房内腫瘍血栓摘出術を行なった腎細胞癌の1例	田畑 尚一・ほか	251
成人 Wilms 腫瘍の1例	元井 勇・ほか	259
尿管コレステアトーマの1例	山中 望・ほか	265
膀胱腫瘍を合併した Werner 症候群の1例	有馬 公伸・ほか	269
広汎子宮全摘術後に発生した再発性膀胱結石の1例	北村 浩二・ほか	275
原発性女子尿道腺癌の2例	堀内 晋・ほか	281
停留睾丸に合併した睾丸回転症の1例	岡野 学・ほか	285
Latamoxef の前立腺および膀胱粘膜組織移行に関する検討	中田 康信・ほか	289
泌尿器系腫瘍特に膀胱腫瘍に対する術後補助化学療法剤としての Carmofur (ミフロール®) の効果について	西尾 正一・ほか	295
非淋菌性尿道炎に対するエノキサシンの使用経験	中野 悦次・ほか	305
経口抗菌剤 Ofloxacin (Tarivid®) の再評価 —急性単純性膀胱炎に対する 300 mg, 600 mg 投与の比較—	坂下 茂夫・ほか	311
神経性頻尿や膀胱刺激症状に対する塩酸テロジリンの臨床効果	米山 威久・ほか	319

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
 - (iii) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C などとする。
 - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入するべき位置を明示する。写真はトリ
- ミングし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,2,7)}、田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主幹)

編集委員： 石神 襄次 前川 正信
園田 孝夫 友吉 唯夫

泌尿器科紀要 第33巻 第2号 1987年2月25日 印刷 1987年2月28日 発行
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入